

## 1 さくらんぼ早食い大会とは？

さくらんぼの大産地である山形県。生産者にせよ関係者にせよ、さくらんぼに関わる人であれば、誰しも一度は「さくらんぼの早食い大会」なる競技を思いついたことがあるのではないだろうか。

ところが、過去実際にこの競技が行われた形跡はほとんどない（HP 検索レベルですが）。そこで、我々おきたま食の応援団では、去る平成26年6月30日（日）米沢市を会場に開催した「うまさギョッ牛っと 米沢牛さくらんぼまつり」のステージイベントとして、このさくらんぼ早食い大会を満を持して実施した。

一回限りの幻の大会となったとはいえ、この競技を企画してから実際に開催するまでの、主催者側の悩みと解決、その成果としてのルール決定と実施。これらについて、このHP 上で特別公開したい。

なお、本企画は、本競技ルールの押しつけや独占を図ろうとするものではなく、山形県ならではのさくらんぼを使った早食い競技を、各産地に広げたいという意図の元でのルール公開であることについても御了解いただきたい。



## 2 さくらんぼ早食い競技実施上のハードルとは？

### その1 さくらんぼはとても高価

さくらんぼは、高級果実の多い我が国の果実の中でも、トップクラスの高級果実である。従って、市価で予算を考えると「やってられない」レベルのもったいなささである。ある意味、この競技はさくらんぼの生産地以外での実施は難しい。本県ならではの競技として差別化を図られるものと考えた。



### その2 何をもって食べたことにするのか？

さくらんぼは、比較的小さい果実なので、口の中に無理やり放り込めばかなり詰め込める。しかし、これはそもそも危険であるし、完食を条件にした場合は確認がやっかいである。そもそも高級果実のさくらんぼを口から吐き出すような絵は作りたくない。

### その3 種を飲み込む危険

さくらんぼの種は小さく、食べ方を誤ると気管に入り込む恐れがあり、参加者が早食いに専念した場合こうした危険を無視できず、主催者としても悪夢のような話である。

#### その4 そもそも何秒で何個食べられるんだろう？

さくらんぼ自体が高価な果実なので、準備する側としては産地といえども数を揃えるのは大変なことである。必要個数を算出するためにも把握する必要がある。産地の方々に聞き取りしてみても意外と早食いの実体験はないようで、はっきりしたことがわからない。これは試してみるしかない！

### 3 とりあえず仮想ルールを作って試してみた！

さて、上述したとおり、さくらんぼの早食い競技は、実際に行おうとすると結構厄介な問題があることがわかったところで、まずは色々試してみた。

#### (1) 基本ルールは「種の数」

食べた果実の「個数」ではなく、食べた果実の「種」を数える！

さくらんぼの早食い大会の実施に目途がついたのは、この基本ルールを思いついてからである。さくらんぼの果実を食べて、その種を容器にきちんと並べてもらう。その数を競って勝者を決定する。

この基本ルールによって、勝利条件がわかりやすくなっただけでなく、種を飲み込む危険性がルール上大幅に減少したことになる。

つまり種を飲み込むとポイントにならないから。

その上、競技を実際にやってみると、下を向いて種を出すことに専念することになるので、種を飲み込もうとしても飲み込めるものではない。

これにより競技の危険性がほぼ解消されたと考えている。

また、関連して、さくらんぼを一個ずつ口に入れようが一度に複数個入れようが、要は容器に並べた種の数が多ければ勝ちという勝利条件の明確化が図られた。

#### (2) 実際に早食いしてみた！

さくらんぼは高価であるが、産地であればけっこう融通がきく。今回我々は6月29日の開催に間に合わせるため、シーズン前に実際に試行してみる必要があったが、授粉樹（紅さやか）の収穫しない果実を生産者から譲り受け、仮に作ったルールで早食いを試してみた。

5人のメンバーで30秒及び60秒で早食い。

ちなみに30秒で何個食べられると思います？1秒当たり1個くらい？

そんなの楽勝？

ここでは1秒間に1個食べることなど、到底不可能とだけいっておきます。

つまり、予算的に思ったより安くできそうということ。

#### (3) きれいに種を並べたい

さて、いくら小さな種でも、ステージ上で口から出したものを人前にさらすことについては、やや躊躇がある。審査する側から考えても、種は1個ずつきれいに分離して並べた状態で審査したい。種を1個ずつ入れられる安価な容器はないものか？



製氷皿みたいな方がいいかな？

色々考えたところ、園芸の苗作りで使う黒い「セルトレー」を切って、種がバラバラに30個入る専用容器を準備することにした。これはとても安上がりの上、色が黒いことから審査の際、判定員が計測しやすく大成功であった。

#### 4 完成したルールと実際の大会実況

こうして完成したルールに基づいて競技を行うとどんな感じになるであろうか。以下に司会による実況を通してルール説明と競技の流れを説明する。

司会：それではルールを説明いたします。

- ・制限時間内にいくつ「さくらんぼ」を食べることができるかを競います。
- ・競技は予選と決勝を実施し、予選は制限時間 30 秒(容器内：さくらんぼ 30 粒)、決勝は制限時間 60 秒(容器内：さくらんぼ 60 粒)とします。予選各組 1 位が決勝進出です。
- ・勝敗は、種の数で判定します。
- ・食べ方は自由。1 粒ずつ口に入れても、複数粒を同時に口に入れても可とします。
- ・種は専用トレーの各マスに 1 粒ずつ入れてください。
- ・1 つのマ스에種を複数入れてもカウントは 1 粒とします。
- ・明らかに果肉が残っていて種が見えないようなものは、無効とします。
- ・種の数と同数の場合、予選ではジャンケンで勝者を決定します。
- ・種の数と同数の場合、決勝では、20 粒の早食いの速さを競う特別ルールで優勝を決めます。

☆ 種を飲み込む行為は無効であるとともに危険ですので、絶対に行わないでください。

(予選は 5 又は 6 組、予選 1 位の方だけが本選に出場できます)



#### ～ 予選実況！！ ～

予選 1 組開始 (判定員の数やステージの広さにもよるが、1 組 6 人くらいが上限か?)

#### ◆ 参加者登壇 (2分)

司会：では、予選第 1 組の方、登壇して準備してください。

準備はいかがですか。では審判長合図をよろしくお願いします。



審判長：開始の笛 「ピーッ！」

競技（30秒）

司会：（10秒前からカウントダウン）

審判長：終了の笛 「ピーッ！」

司会：はい、終了です。では判定員の皆さま判定をお願いします。

判定・決勝進出者発表（3分間程度）

（判定員：種の数を書き、クロッキーボードにマジックで記入する：この時点ではまだ数字のボードは観客には伏せておく）

（審判長：ボードの数字と種子の数を簡単に目視確認）

司会：判定が終わったようですね。

では、ボードをオープンしてください。

（判定員 一斉にボードを掲げる）

審判長：本選出場は○番（机に表示してある番号）の方です。

司会：おめでとうございます。

では、○番の方、本選頑張ってください

（時間があればコメントも可）。

その他の方々は、残念でした。残ったサクランボはそのままお持ち帰りください

。ありがとうございました。では、降壇してください。



以上が予選競技の流れである。

今回は残ったさくらんぼをお持ち帰りできるとしたのも、競技参加の楽しみの一つとなった。

## 5 幻の第1回さくらんぼ早食い大会の結果について！

第1回さくらんぼ早食い大会は、参加者20名、予選4名×5組、本戦は予選を勝ち抜いた5名での実施となった。参加料として一人500円、食べられなかったさくらんぼはお持ち帰りいただくシステムである。

注目の予選最高記録は、30秒間に種子数13個。

実は、多くの参加者が6～9個程度だったなかで、30秒で13個は驚異的な記録である。制限時間が1分（60秒）となる決勝での記録は、優勝者が種子数22個、準優勝が種子数21個で、優勝決定戦を行うことなく、初代王者が決定した。

ちなみに、13個／30秒の予選最高記録を出した方（女性）は準優勝と惜しくも優勝を逃した。

そして優勝したのは、

ステージイベントに出演中の地元ヒーロー「アズマンジャー」悪の女幹部ジャミンナ様（自費参加）！という、ネタにしかならない結果となってしまった。

お祭りの絵としてはけっこうアリなんじゃないか・・・とか  
いつか彼女の記録を破る勇者が必ず現れる・・・とか  
棒読みセリフを呟きながらこの大会を終えた我々だが、まさか、翌年は開催自体がなくなっ  
てしまうとは思わなかったのである。

ジャミンナ様（自費参加）曰く

「立場を忘れて本気になりました！すみません」とのこと。  
優勝賞品の豪華米沢牛セットは、アズマンジャー達とも分け合って美味しくいただいたとの  
こと。

さて、今回は準備してあった、決勝で  
複数の参加者が種子数が同数の場合  
に対応した優勝決定戦特別ルールは  
発動しなかったものの、これについて  
も（必ず必要になるので）もし知りた  
い方は完全公開するのでお問い合わせ  
させていただきたい。

幻の大会となった第1回さくらんぼ  
早食い大会であるが、せっかくこんな  
に盛り上がった本ルールを活用して  
「さくらんぼ早食い競争」を実施した

いグループ、自治体等ありましたら、競技マニュアル等、ノウハウをすべて公開しますので  
是非ご連絡ください。

